

| 冬季特別企画 |

# あそび発見！ ウソ？ ホント？



2025.12.20(土)ー2026.1.12(月・祝)  
会期中の休館日=12/23、29、30、31、1/1

## みんなであそぶプログラム

会期中毎日 | 10:00-16:00  
(11:30-12:30 はお休み、1/7-9 は12:30-16:00)

「ウソ」と「ホント」をテーマにした  
あそびがいっぱい！  
「USPO」、「まぼろシティ」、  
「∞テレビ」など

## あつまるあそぶプログラム

土・日・祝日 | 14:00-14:45 (30分前受付)

「うストーン」  
紙をつかって石をつくります。

## たべるあそぶプログラム

日曜日 | 11:00-12:00 (30分前受付、抽選6組)

「ウソーセージ」  
ウソかホントか！ソーセージをつくります？

## 特別プログラム

1/3(土)、4(日) | 13:30-15:30 (随時受付)

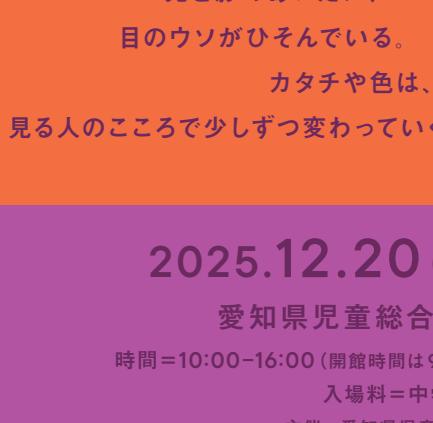
野村実里さんの「はっけはっけ」  
おみくじの結果はウソ？ホント！?  
いろんなあそびでおみくじをつくるあそびです。

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



愛知県児童総合センター | 冬季特別企画 |

# ウソ？ ホント？



見えているのに、見えていない。  
まっすぐなのに、ゆがんでいる。  
ホントのようで、どこかウソっぽい。  
光と影のあいだに、  
目のウソがひそんでいる。  
カタチや色は、  
見る人のところで少しずつ変わっていく。

ウソをつくのは、目かもしれない。  
それとも、わたしたちの思いこみかもしれない。  
ルールはひとつ。  
「人がいやな思いをするウソはだめ！」  
ということ。  
ウソとホントのあいだをそっとのぞいて、  
ゆらめく世界をあそんでみよう。

2025.12.20(土)ー2026.1.12(月・祝)

愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

時間=10:00-16:00(開館時間は9:00-17:00) 会期中の休館日=12/23、29、30、31、1/1

入場料=中学生以下無料、その他300円

主催=愛知県児童総合センター(公益財団法人 愛知公園協会)

Aichi Children's Center

# あそび 発見！

子どもとおとな、ドキドキ発見！

あそび発見！  
ウソ？ホント？

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol.

2025-26 冬

53

冬季特別企画 |

あそび発見！  
ウソ？ホント？

特集 |  
児童館×アート：  
みんなでつくる  
「Laulima(たくさんの手)」

特集 |  
夏季特別企画  
「ネイチャー・  
ワンダーランド 2025  
すてき wo みつける wo つくる」

子育てのおはなし 第53話  
募集とお知らせ



## 愛知県児童総合センター



〒480-1342  
愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1  
TEL/0561-63-1110  
E-mail/info@acc-aichi.org  
https://www.acc-aichi.org

開館時間/9:00-17:00  
入場料/中学生以下無料、その他300円

休館日/12月=2、9、16、23、29、30、31日  
1月=1、13、20、27日  
2月=3、10、17、24日  
3月=3、10、17、24日

公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から  
機関で… リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車  
車で… 東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから  
足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北1駐車場利用)

Aichi Children's Center News Letter 2025-26 winter 編集・発行/愛知県児童総合センター(公益財団法人 愛知公園協会)

愛知県児童総合センター





愛知県児童総合センター（以下ACC）では、地域の多様な資源とつながること、普段は出会えない新しい「あそび」を試みています。今年度は、国際芸術祭「あいち2025」との共同事業として、ネイティブ・ハワイアのアーティスト、ソロモン・イノスさんと共にワークショップを開催することができました。

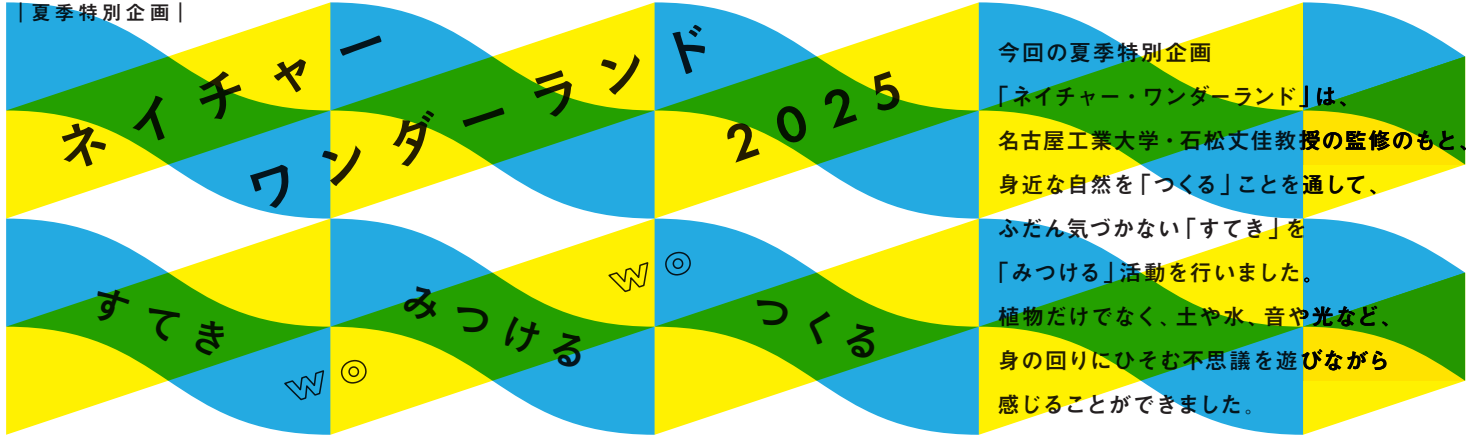
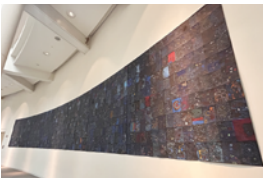
イノスさんはこれまでも、公共空間での公開制作や学校など地域社会と協働した壁画制作など、コミュニティとの実践を重視した制作を行ってきました。

今回のワークショップでは、ACCに来館した子どもたちがたくさん参加できること、そして必ずしもアートに普段関心がない方も楽しめることを意識しました。ACCスタッフはイノスさんや国際芸術祭「あいち2025」のスタッフと打ち合わせを重ね、互いにアイデアを出しながら内容をつくり上げました。

さらに、実施中には参加者の反応に応じて過程を変化させ、より充実した体験にすることができました。加えて、イノスさんの情熱とパワーが加わったことで、私たちだけでは実現できない、創造力あふれる素晴らしい体験が生まれました。また、イノスさんとACCの理念が近く、共感できたことも、協働の意義をさらに深める結果となりました。

ワークショップ名「Laulima」はハワイ語で「たくさんの手」、つまり「協働」を意味します。800枚以上の黒い画用紙に、参加者が自由に色や点を重ねた痕跡が広がり、それぞれの個性が集まって独自の秩序ある混沌を生み出しました。「ルールに従って描く」「結果的に守られてなくてもよい」という矛盾を含んだ過程は、個人と集団の関係を体感的に理解する機会にもなりました。「何も描かない」ことも「すべてを描く」ことにつながり、参加者それぞれが芸術の創造力を実感できる時間となりました。

愛知県児童総合センターと瀬戸市内の保育園で行われたこの活動には、子どもも大人も含めて約1,000人が参加しました。参加者全員で描いた「Laulima」が美術館で展示される体験は、子どもたちにとってはもちろん、大人にとっても「自分の表現が美術館とつながる」という特別な喜びになったのではないのでしょうか。



館内には、自然をテーマにしたあそびが散りばめられています。地図を片手に探検しながら歩くと、自分だけの「すてき」と出会いました。



土の粘土のあそび。自然になじむかたちをつくり、その中に植物の種をそっと入れて外に飾ります。やがて土に還り、芽を出して風景の一部になります。



大きな水に触れたり、溶けていく様子を眺めて遊びます。ひんやりした感触と、ゆっくりカタチを変える水に、自然の不思議や時間の流れを感じました。



空ゲージを使って今日の空のいろを見えます。同じ空を見えていても、そこに見える色は一人ひとり違うかもしれません。



枝と石を組んだり、並べたりして遊びます。ただそれだけなのに、カタチや配置によって思いがけない新しい風景が見えてきました。



プラスチックの容器を切ってつなげて影をつくって遊びます。みんながつくったスケルトンねるを外に飾ると、光に透けてキラキラ揺れる影や音がとてすてきでした。



会期前に名古屋工業大学環境とデザイン研究室の学生と子どもたちとでつくった「おとネット」で糸電話のように他の人と話してみます。小さな声でもしっかり聞こえることに驚きながら、知らない人ともつながって楽しそうに声を交わしていました。



トマトでできたトンネルを通ります。日常とは少し違う体験だからこそ、自然をより身近に、豊かに感じることができました。



土・日曜日や祝日には、枝や土などの自然素材を使ったあそびを、日替わりで実施しました。



粘土で色々な場所のカタチを写してきました。小枝で迷路をつくりました。葉っぱや枝で不思議な生き物をつくりました。



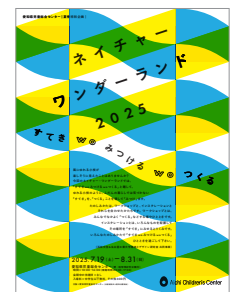
「すてき wo みつける wo たべる」

玄米を煮てすり鉢ですり、豆乳と黒糖を加えて、音や香りを楽しみます。玄米を煮ると香ばしい香りが立ち上り、すり鉢の音や手触りを感じながら、五感の豊かなお茶を味わうことができました。



特別プログラム「はっぱティー」

名古屋工業大学環境とデザイン研究室の学生たちと一緒に、クッキーの生地に乗ったカタチを写したり、植物の葉っぱでお茶をいれたりして、みんなではっぱティーをします。葉っぱを写すと、ひとつひとつ異なるカタチや色の美しさに気づき、香り豊かなお茶を味わうと、自然をより身近に感じることができました。



令和7年夏季特別企画として実施しました。

## 子育てのおはなし

臨床心理士  
後藤 かをり

### 第53話

## 入力と出力ー

子どもの出力を、  
楽しんで聞き（見て）やりたい

あるお母さんがこう話されました。  
毎日、お風呂に入りながら、「きょう、よかったこと」を話すんです。そうすると、子どもさんは、「〇〇たのしかった」「〇〇おいしかった」「〇〇ちゃんにおもちゃ、かえた」「〇〇ちゃん、ペンしなかった」など、まだそんなに達者ではない言葉で、話してくれるのだそうです。日ごろ、頭も体もとても素早く動く子について、ちょっと困ることもあったお母さんです。

すてきだなと思いました。困ったことがあると、私たちは子どもに言い聞かせようとしがちです。そして「わかった?」。子どもは、そういうわないとまた叱られるから「うん」と神妙な顔をします。でも、何がわかったのかしら? 私たちは時に「お母さんが何を言ったか言って

ごらんさない」と追い打ちをかけ、言えたら言えたで「うん、よし!」。言えなかったら「聞いてなかったでしょ」とまた叱り…。

記憶や考えるなど、脳の成長には＜入力＞より＜出力＞が大事と言われてます。できるだけ、自分の力で、見たことや聞いたこと、自分の気持ちや考えを表現してくれるのを促し、ゆっくりと待ちたいと思います。そして、子どものつたないかもしれないし、間違っているかもしれない考えを喜んで聞いてやりたいと思います。子どもの絵や文字も同じです。親がニコニコと楽しそうに聞いたり見たり、そして喜んでくれて初めて、表現することを楽しみ、また出力してくれると思います。

## 募集とお知らせ

### たまりばー中高生世代の基地ー

対象：中学生・高校生などの中高生世代

#### ●中高生ラボ

居場所となるような空間でボードゲームやカードゲーム、本などを楽しみながら思うままに過ごせます。

日時：毎週金・土曜日13:30-17:00 随時受付



#### ●中高生アナログカフェ

約200種類のボードゲームやカードゲームで遊ぶことができます。グループでも1人でもOK! 好きなゲームを楽しんでください。

日時：毎月第3日曜日 9:30-11:30



たまりば Instagram 最新情報はこちらから



#### 親子であそぶ

### 「トコトコプログラム」

「大人がたのしいとこどもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお父さんやお母さん、保護者の皆さんが“一緒に”楽しむプログラムです。わくわくするような感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

開催日：12/3日(水) 「まるまるであそぶ」  
12/10(水) 「はっぱであそぶ」  
12/17(水) 「はっぱであそぶ」  
1/14(水) 「えがいてあそぶ」  
1/21(水) 「音であそぶ」  
1/28(水) 「土ねんどであそぶ」

対象：1～3歳の未就園の子どもとその保護者

申込：前日14時よりWEBフォームにて受付

詳細はHP・Instagram をご覧ください。



まるまるであそぶ



えがいてあそぶ

### 移動児童館「ゆめたま号」

児童総合センターのあそびを乗せて県内各地へ出掛けます。地域の子どもと大人に、現地のスタッフも加わって一緒になって遊ぶプログラムです。あそびをとおして、たくさんの出会いを楽しみにしています。

12/20(土) 尾張旭市 渋川児童館  
1/29(木) 岩倉市 第三児童館  
1/31(土) 西尾市 西尾市社会福祉協議会 幅豆支所(幅豆いきいきセンター)  
2/7(土) 一宮市 大和児童館  
2/28(土) 弥富市 大藤児童館  
3/1(日) 新城市 鳥原児童館



### Instagram [acc\_aichi] 更新中

「発見! あそびの基地」や特別企画、親子であそぶ「トコトコプログラム」、中高生プログラム、移動児童館など、日々の活動の様子を紹介したり、あそびのプログラムへの参加申し込みについてお知らせしています。

Instagramアカウント( acc\_aichi )は  
こちらから



※プログラムは予告なく変更・中止する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。